

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年7月15日
【四半期会計期間】	第55期第2四半期（自 2020年3月1日 至 2020年5月31日）
【会社名】	株式会社キューソー流通システム
【英訳名】	K.R.S.Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西尾 秀明
【本店の所在の場所】	東京都調布市調布ヶ丘三丁目50番地1
【電話番号】	042(441)0711(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理担当 笹島 朋有
【最寄りの連絡場所】	東京都調布市調布ヶ丘三丁目50番地1
【電話番号】	042(441)0711(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理担当 笹島 朋有
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第54期 第2四半期 連結累計期間	第55期 第2四半期 連結累計期間	第54期
会計期間	自2018年 12月1日 至2019年 5月31日	自2019年 12月1日 至2020年 5月31日	自2018年 12月1日 至2019年 11月30日
営業収益 (百万円)	84,567	85,064	172,185
経常利益 (百万円)	2,487	819	4,350
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	1,351	114	1,835
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,563	365	2,156
純資産額 (百万円)	39,784	40,107	40,085
総資産額 (百万円)	84,530	88,518	88,175
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	108.75	9.19	147.71
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	43.2	41.2	41.4
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	3,273	2,261	5,806
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	4,431	3,581	7,991
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,446	1,081	1,552
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	4,833	3,655	3,890

回次	第54期 第2四半期 連結会計期間	第55期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2019年 3月1日 至2019年 5月31日	自2020年 3月1日 至2020年 5月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	79.81	4.92

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況  
1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて、以下の追加すべき事項が生じております。

なお、文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行しており、終息の時期が見通せず、先行き不透明な状況が続いております。当社は、新型コロナウイルス感染症による影響は、緊急事態宣言が5月に解除され6月以降緩やかな回復を想定しているものの、概ね当連結会計年度中は影響が継続するものと見込んでおります。今後の経過によっては得意先の営業自粛等により貨物量が減少する可能性があるほか、当社グループの従業員に感染者が発生した際、場合によっては事業活動停止から復旧までの期間に時間を要する可能性があり、当社グループの業績と財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

当社は、新型コロナウイルス感染症対策事務局を設置し、従業員および得意先・取引先関係者の健康と安全の確保を最優先として、事業継続に向けた対策を実施しております。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、経済活動が抑制され、個人消費や輸出、生産の減少に加えて雇用情勢も弱含みとなるなど、景気は急速に悪化し、先行きは厳しい状況となりました。

食品物流業界におきましては、燃料調達単価は低位に推移しましたが、移動制限や外出自粛の影響により、外食需要が大きく減退したことに加え、内食需要は、急激な需要の高まりにより、人手の確保や配送において調整が取りづらい状況が続くなど、厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、「持続的成長への挑戦」をテーマに掲げ、「新領域の創出による成長」「機能の強化と拡充」「選ばれる企業価値の創造」の3つを基本方針とした、中期経営計画（2019年度から2021年度）を推進しております。

中期経営計画の2年目となる2020年度は、事業戦略の確実な遂行により、確かな成長をめざす年として、収益力の強化、オペレーションのシンプル化、機能拡充投資、働きやすい職場環境づくりに取り組んでおりますが、新型コロナウイルス感染症の影響による消費減退が大きく、厳しい事業運営を強いられる展開となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益は850億64百万円（0.6%増）、営業利益は9億26百万円（57.2%減）、経常利益は8億19百万円（67.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億14百万円（91.6%減）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

なお、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しておりますので、下記の前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値との比較となっております。

共同物流事業収益は、食品メーカーなどの新規取引や既存取引の拡大により増収となりましたが、3月以降は急速な消費の減退により出荷物量が減少しました。利益面は、適正料金の収受および運送業務の合理化など改善に努めましたが、業務用食品を中心に出荷物量が減少した影響や省人化機器への投資が先行したことなどにより損失を計上しました。

この結果、共同物流事業収益は563億6百万円（前年同期比0.5%増）となり、営業損失は42百万円（前年同期は営業利益11億65百万円）となりました。

専用物流事業収益は、コンビニエンスストアや外食需要は落ち込みましたが、チェーンストアなどの新規取引や既存取引の拡大により増収となりました。利益面は、営業収益増加による利益増および適正料金の收受などが進捗しましたが、コンビニエンスストアや外食向けの出荷物量が減少した影響やセンター立上げによる費用増加などにより前年を下回りました。

この結果、専用物流事業収益は256億46百万円（前年同期比1.8%増）となり、営業利益は7億26百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

関連事業は、車両販売台数や燃料販売が減少したものの、施設工事が前年を上回りました。

この結果、関連事業収益は31億11百万円（前年同期比6.7%減）となり、営業利益は2億29百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

## (2) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億43百万円増加し、885億18百万円となりました。資産の増加の主な要因は、受取手形及び営業未収入金の減少15億53百万円、投資有価証券の減少2億13百万円はありましたが、有形固定資産の増加19億61百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億21百万円増加し、484億11百万円となりました。負債の増加の主な要因は、支払手形及び営業未払金の減少11億96百万円はありましたが、長期借入金の増加15億25百万円などによるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ22百万円増加し、401億7百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の減少1億71百万円はありましたが、非支配株主持分の増加1億23百万円、退職給付に係る調整累計額の増加78百万円などによるものであります。

## (3) キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億34百万円減少し36億55百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、22億61百万円（前年同期は32億73百万円の収入）となりました。これは主に、仕入債務の減少、法人税等の支払額の発生はありましたが、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上および売上債権の減少によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、35億81百万円（前年同期は44億31百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、10億81百万円（前年同期は14億46百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出、リース債務の返済による支出はありましたが、長期借入れによる収入、短期借入金の純増減額の増加によるものであります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,600,000
計	36,600,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年5月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年7月15日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	12,677,900	12,677,900	株式会社東京証券取引所 (市場第一部)	・権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 ・単元株式数100株
計	12,677,900	12,677,900	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(百万円)	資本金残高(百万円)	資本準備金増減額(百万円)	資本準備金残高(百万円)
2020年3月1日～ 2020年5月31日	-	12,677,900	-	4,063	-	4,209

(5) 【大株主の状況】

2020年5月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
キュービー株式会社	東京都渋谷区渋谷1丁目4-13	5,634	45.33
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1丁目8-11	1,008	8.11
株式会社中島董商店	東京都渋谷区渋谷1丁目4-13	737	5.93
日本スタートラスト信託 銀行株式会社	東京都港区浜松町2丁目11-3	431	3.47
キューソー持株会	東京都調布市調布ヶ丘3丁目50-1	282	2.27
キューソー流通システム グループ従業員持株会	東京都調布市調布ヶ丘3丁目50-1	166	1.34
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1-2	145	1.17
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバン ク、エヌ・エイ東京支店)	PALISADES WEST 6300, BEE CAVE ROAD BUILDING ONE AUSTIN TX 78746 US (東京都新宿区新宿6丁目27-30)	133	1.07
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理 サービス信託銀行株式会 社)	東京都千代田区大手町1丁目5-5 (東京都中央区晴海1丁目8-12)	117	0.94
第一生命保険株式会社 (常任代理人 資産管理 サービス信託銀行株式会 社)	東京都千代田区有楽町1丁目13-1 (東京都中央区晴海1丁目8-12)	113	0.91
計	-	8,768	70.55

(注) 1. 上記のほか、当社は249千株の自己株式を保有しております。なお、発行済株式総数に対する自己株式の保有割合は1.97%であります。

2. 上記の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,008千株
日本スタートラスト信託銀行株式会社	431千株

( 6 ) 【議決権の状況】  
【発行済株式】

2020年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 249,400	-	権利関係に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,424,100	124,241	同上
単元未満株式	普通株式 4,400	-	同上
発行済株式総数	12,677,900	-	-
総株主の議決権	-	124,241	-

【自己株式等】

2020年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社キューソー流通システム	東京都調布市調布ヶ丘三丁目50番地1	249,400	-	249,400	1.97
計	-	249,400	-	249,400	1.97

2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年12月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,890	3,655
受取手形及び営業未収入金	21,090	19,537
商品	82	121
貯蔵品	124	145
その他	1,606	1,869
貸倒引当金	129	129
流動資産合計	26,665	25,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,235	11,072
機械装置及び運搬具(純額)	12,129	16,181
工具、器具及び備品(純額)	1,252	1,195
土地	21,808	22,348
リース資産(純額)	2,267	2,088
建設仮勘定	2,637	405
有形固定資産合計	51,330	53,292
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	2,264	2,050
敷金及び保証金	4,136	4,155
その他	2,647	2,754
貸倒引当金	52	52
投資その他の資産合計	8,994	8,907
固定資産合計	61,509	63,319
資産合計	88,175	88,518

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	14,790	13,594
短期借入金	4,274	4,635
未払法人税等	917	666
賞与引当金	938	926
役員賞与引当金	66	38
その他	8,642	8,771
流動負債合計	29,630	28,631
固定負債		
長期借入金	14,249	15,775
退職給付に係る負債	702	545
資産除去債務	967	980
その他	2,540	2,479
固定負債合計	18,459	19,779
負債合計	48,089	48,411
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,063	4,063
資本剰余金	4,208	4,208
利益剰余金	28,776	28,604
自己株式	361	361
株主資本合計	36,686	36,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	677	665
繰延ヘッジ損益	7	6
為替換算調整勘定	67	71
退職給付に係る調整累計額	884	806
その他の包括利益累計額合計	146	76
非支配株主持分	3,545	3,668
純資産合計	40,085	40,107
負債純資産合計	88,175	88,518

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
営業収益	84,567	85,064
営業原価	79,878	81,703
営業総利益	4,688	3,360
販売費及び一般管理費	1,252	1,243
営業利益	2,167	926
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	14	10
受取賃貸料	29	30
補助金収入	303	2
デリバティブ評価益	3	-
養老保険解約差益	2	36
その他	56	47
営業外収益合計	414	130
営業外費用		
支払利息	54	57
貸与設備諸費用	21	22
持分法による投資損失	1	25
デリバティブ評価損	-	24
未稼働設備関連費用	-	97
その他	17	11
営業外費用合計	94	238
経常利益	2,487	819
特別利益		
固定資産売却益	16	27
関係会社株式売却益	-	6
特別利益合計	16	33
特別損失		
固定資産除売却損	51	65
リース解約損	0	0
特別損失合計	51	66
税金等調整前四半期純利益	2,452	786
法人税、住民税及び事業税	946	611
法人税等調整額	71	130
法人税等合計	874	480
四半期純利益	1,577	305
非支配株主に帰属する四半期純利益	225	191
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,351	114

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	1,577	305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82	23
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	0	4
退職給付に係る調整額	68	78
その他の包括利益合計	13	59
四半期包括利益	1,563	365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,344	184
非支配株主に係る四半期包括利益	218	181

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,452	786
減価償却費	1,974	2,216
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	0
賞与引当金の増減額(は減少)	55	12
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	79	41
役員賞与引当金の増減額(は減少)	23	28
受取利息及び受取配当金	17	13
支払利息	54	57
持分法による投資損益(は益)	1	25
関係会社株式売却損益(は益)	-	6
有形固定資産売却損益(は益)	2	20
有形固定資産除却損	37	58
売上債権の増減額(は増加)	733	1,554
たな卸資産の増減額(は増加)	50	59
仕入債務の増減額(は減少)	837	1,237
長期未払金の増減額(は減少)	-	26
未払消費税等の増減額(は減少)	9	124
その他	118	182
小計	4,188	3,193
利息及び配当金の受取額	24	21
利息の支払額	52	56
法人税等の支払額	927	928
法人税等の還付額	41	32
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,273	2,261
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	3,966	3,626
有形固定資産の売却による収入	37	37
無形固定資産の取得による支出	482	59
投資有価証券の取得による支出	15	6
貸付けによる支出	18	112
貸付金の回収による収入	15	21
関係会社株式の売却による収入	-	164
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,431	3,581
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	600	500
長期借入れによる収入	4,300	2,800
長期借入金の返済による支出	1,451	1,413
リース債務の返済による支出	472	460
自己株式の取得による支出	-	0
配当金の支払額	273	285
非支配株主への配当金の支払額	56	57
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,446	1,081
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	3
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	288	234
現金及び現金同等物の期首残高	4,545	3,890
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,4,833	1,3,655

【注記事項】

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
給与	794百万円	785百万円
賞与及び賞与引当金繰入額	156百万円	148百万円
役員賞与及び役員賞与引当金繰入額	42百万円	41百万円
退職給付費用	48百万円	62百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
現金及び預金勘定	4,833百万円	3,655百万円
現金及び現金同等物	4,833百万円	3,655百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年2月22日 定時株主総会	普通株式	273	22.0	2018年11月30日	2019年2月25日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年7月4日 取締役会	普通株式	285	23.0	2019年5月31日	2019年8月6日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年2月21日 定時株主総会	普通株式	285	23.0	2019年11月30日	2020年2月25日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年7月2日 取締役会	普通株式	285	23.0	2020年5月31日	2020年8月6日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年12月1日至2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	56,029	25,201	3,336	84,567	-	84,567
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	4,387	457	2,258	7,102	7,102	-
計	60,416	25,658	5,595	91,670	7,102	84,567
セグメント利益	1,165	760	227	2,152	15	2,167

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2019年12月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	56,306	25,646	3,111	85,064	-	85,064
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	5,198	496	2,248	7,944	7,944	-
計	61,505	26,142	5,360	93,008	7,944	85,064
セグメント利益又は損失( )	42	726	229	913	13	926

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の経営管理体制の変更に伴い、一部の子会社については、報告セグメントを「共同物流事業」から「関連事業」に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末(2020年5月31日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(2020年5月31日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(2020年5月31日)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり四半期純利益	108円75銭	9円19銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	1,351	114
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	1,351	114
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,428	12,428

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

2020年7月2日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次の通り決議いたしました。

- (イ) 中間配当による配当金の総額 285百万円
- (ロ) 1株当たりの金額 23円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 2020年8月6日

(注) 2020年5月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月15日

株式会社キューソー流通システム

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 福原 正三 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 佐久間 佳之 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社キューソー流通システムの2019年12月1日から2020年11月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年12月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社キューソー流通システム及び連結子会社の2020年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。